



だっこ通信

第16号

2021. 11月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「しつくて難しい」

しつけを行うのは根気とエネルギーがいります。見て見ぬふりをした方が楽かも……。でも、子どもの幸せを思うと、良い習慣や行儀を身に付けさせたい、約束やルールを守れる子にしたい……。など、教えたいたくさんあります。

次の場面では、子どもが食事中に立ち上がっています。さあ、あなたならどうする？

Aさんの場合

怒って言うことを聞かせようとしています。



子どもは一瞬座りますが、また立ってしまいます。

一見効果があるように思えますが「怒られるか・怒られないか」ということが基準になってしまいます。

Bさんの場合

してほしい行動を肯定的な言葉で繰り返します。



子どもがちょっとでも座れたら「できたね」と褒めます。

根気のいることですが、長い目で見ればこちらの方が身に付いていきます。

この子はどうして立ってしまったのでしょうか。自分から離れた所にある物を取りたかったのかな？ ママの所に行きたかったのかな？ 立ちたくなる理由を言葉でうまく伝えられない場合もあります。

★本日のお題

しつけの基本は根気よく教えること

ルールを守らない、危険なことをする、人をいじめるなど、いけないことをしたときは毅然と叱ることが必要ですが、怒ったり暴力をふるったりして言うことを聞かせるのは「しつけ」ではありません。子どもにしてほしいことを伝えるときは「～しない」ではなく「～しよう」という言い方にしましょう。子どもは、自分を大切にしてくれる人の話を聞き、しだいに行動をまねるようになります。しつけの基本は、親の良き手本と根気、そして深い愛情です。

発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)